

平成 19 年（2007 年）12 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（3 日目）

平成 19 年 12 月 14 日（金）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	唐 真 弘 安 (自由民主党・ 市民の会)	1 水産行政について	壺川漁港代替船揚場浚渫工事について この問題は実に 10 年前より山川那覇市沿岸漁業協同組合長より再三にわたり、その実現方の強い要請が続けられてきたが、残念ながら実現を見ることなく今日に至っている 特に本員の所属する厚生経済常任委員会では、山川組合長よりなされた陳情に対し慎重に審議をし、全議員で現場である壺川漁港を視察し、「陳情の主旨はもっともである」との結論に達し、去る 6 月定例会において全会一致、一人の反対者もなく陳情は採択されている このような経過を当局は重く受けとめ「政治は生活である」、「行政も生活である」との視点から、最大の努力をすべきであるが、どのように取り組んでいるか、経過の説明と進捗状況について伺う
		2 教育行政について	本員は、平成 18 年 6 月定例会において、文字活字文化振興法が成立した時代的背景を説明し、本市の小学校教育に書道教育の特区の認定を受け、小学 1 年、2 年に書道科を立ち上げることを提言した。2 月定例会においては、提言から 8 カ月経過したところでの経過報告をしていただいた。2 月から 10 カ月経過しており、担当部長の経過報告並びに進捗状況について伺う
			【答弁を求める者】 市長、関係部長

個人質問（3日目） 平成19年12月14日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	與 儀 實 司 (自民・無所属 連合)	総務行政について	(1) 7月8日の「なはの日」制定について、以前から議会の場でも再三取り上げられている。市民団体により日本記念日協会へも登録済みだということも伺っている 市民意識の高揚、まち興し・地域活性化のために行政による制定が強く望まれている。以下について質問を行う ① 今年の「なはの日」関連事業の状況と、今後の「なはの日」制定に向けての取り組みについて ② 「なはの日制定実行委員会」とはいかなるものか ③ 行政として公式に制定するために判断の材料又は考慮すべき事情等としては、どのような事が考えられるか (2) 真嘉比、古島地区から現在のおもろまち一帯にかけて先の大戦の歴史的史実からも分かる通りシュガーローフと呼ばれ、米軍は2,000名以上、日本軍もその2.5倍から3倍とも言われる犠牲者を出すほど沖縄戦を地域単位で見た際、1～2位を争うほど激しい戦闘が繰り広げられた地域である 先の天久新都心開発の際にそこに埋没する粉々に散った膨大な数の戦没者の遺骨は、一切集骨事業の対象とされることなく開発計画が完了した。以下について質問を行う ① 真嘉比、古島地区での現在までの遺骨は何体確認出来ているのか ② その処置はどのようにしているのか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			③ 那覇市独自で今後遺骨収集作業をやる予定があるのか ④ 収集作業を市の平和事業の一環として実施できないか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 19 年 12 月 14 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	糸 数 昌 洋 (公 明 党)	1 雇用対策について 2 療養病床の再編成について 3 那覇市安心安全情報共有システムについて	(1) 雇用対策法の改正と本市の対応について 募集・採用時における年齢制限が禁止された改正雇用対策法が本年10月1日より施行され、高齢者や年長フリーターなど、応募の機会すら閉ざされていた状況の改善に期待がもたれている。改正法の概要と本市における対応について伺う (2) 「地域雇用創造推進事業」について 厚生労働省が進める「地域雇用創造推進事業」に那覇市の地域雇用創出促進協議会が実施する二つの事業が採択されたが、推進事業の概要と採択された2事業の内容及び雇用創出効果について伺う 昨年の医療制度改革の中で、療養病床の再編成が行われることになり、平成23年度末までに計画的に進められるが、本市の対応と課題を伺う (1) 再編の進め方と厚労省の方針の動きについて (2) 本市の現状と対応、及び課題について 9月定例会において取り上げた「安心安全メールシステム」の実施状況について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 道路・交通 行政について	中心市街地の牧志壺屋線・牧志35号・牧志13号の3本の市道でつなぐ三角線は、モノレール通りの開通やトランジットマイルの実施などで国際通りや開南方面への抜け道として交通量の増大が著しく、歩行者の安全対策や交通緩和策への住民の要望が高い (1) この地域の交通状況はどうなっているか (2) これらの市道の交通対策及び歩行者の安全対策について (3) 牧志壺屋線は道路を拡幅し歩道の整備ができないか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 19 年 12 月 14 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	玉 城 仁 章 (そうぞう)	1 市長の政治 姿勢について	第28代那覇市長は政党や理念を超え、財政難から大変苦勞を背負うのではと予想されていた 第18・19代西銘順治市政は2期7年の間に構築した事業・実績は県民の多くの方が評価をしているのではないか その事業については、安謝新港埋立事業を始めとして、庁舎建設、久場川、石嶺等の市営団地等、数々の実績を残し現在に至っている それから40余年を経過し老朽化と時代のニーズに合わせ、建て替えや管理体制においては、決断と政治折衝要求の手腕が期待されるところである その難局の打開策については、一言で評価することはいかななものかと思慮するものであるが、これまでの市政のありようは庁舎建設予定地、とまりんの売却、病院の法人化、民営化、職員定数の減数は、消極的政治志向ではないか 県都那覇市としての風格ある市政を標榜するなら、他の自治体より数段差の積極的な施策を切望するものである そのことから、市長の政治姿勢を伺う (1) 近隣市及び離島の合併構想は (2) 奥武山野球場はドーム球場にすべきではなかったか (3) 路面電車構想はどうか (4) 栄町に地下街構想はないか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 入札制度について	(1) 制限付競争入札と一般競争入札の違いは何か (2) とまりんの入札制度 (3) とまりん入札における最低価格積算の根拠と金額
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（3日目） 平成19年12月14日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	比 嘉 憲次郎 (社 社 連 合)	1 とまりんホテル棟の売却について 2 資源ごみの抜き取り禁止条例について	(1) 三井不動産株式会社に優先交渉権を与えているが、優先交渉権者の意味とその法的地位を伺う (2) 三井不動産(株)に優先交渉権を与えた理由を問う 三井不動産(株)の入札書記載事項の買取価格、①ホテル部分を現状回復した状態での買取価格、②ホテル部分を現況のままでの買取価格は幾らか伺う 買取価格以外の重要な選定材料として三井不動産(株)が他の入札者より高い評価を受けたのは何か伺う (3) 最終買取価格提示後の減額が今までであったのか、またこれから先あり得るのかどうか伺う (4) (株)かりゆしは、12月末日に退去し現状回復を行う予定のようであるが、予定どおりか伺う。なお、都合により現状回復しない場合にかりゆし宛に支払う内部造作設備等にかかる資金は幾らか伺う (5) 泊ふ頭(株)の取締役は、善管注意義務、忠実義務に基づいて、とまりんの売却交渉を公開すべきであるが、見解を伺う (1) 市は全国に何市あり、そのうち、資源ごみ抜き取り禁止条例を制定しているのは何市で、罰則まで規定しているのは何市か伺う (2) 所定の場所からの持ち去り、抜き取りを現認し、過料を科すまでの一連の流れを説明願う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 ホームレス 支援推進事業 について	(1) 一時宿泊施設について、市の取り組み（予算を含め）を伺う (2) 緊急対応食料費について、市の取り組み、その予算を伺う
		4 ホームレス の自立を支援 するための施 策について	(1) 安定した雇用を確保するため、どのような施策を講じているのか伺う (2) 職業能力の開発等による就業の機会を確保するためどのような施策を講じているのか伺う (3) 住宅への入居の支援等による安定した居住の場所を確保するためにどのような施策を講じているのか伺う (4) 保健及び医療の確保に関する施策をどのように講じているのか伺う (5) 生活に関する相談及び指導はどのように実施しているのか伺う (6) ホームレスを支援する団体とどのような連携をとってきたか、また、これからとるか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 19 年 12 月 14 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	上 里 直 司 (民主クラブ)	1 発達障がい 児支援について 2 図書館行政 について 3 とまりん一 部売却について	(1) 今年２月に発達障害者支援センターが開所して以来、相談件数は何件あり、そのうち本市在住者の相談は何件か (2) 本市として、県こども医療センター「こころの心療科」とどのような連携をとっているのか。また、新患の受け入れができない事態となっているようだが、県に対して「こころの心療科」存続、活性化に向けた要望をすべきだが、市長の見解を伺う (1) 市は次年度から移動図書館の廃止を打ち出しているが、その意義からすれば、撤回、見直しすべきだと思うが見解を伺う。また、子どもの読書活動推進計画、次世代育成支援計画との整合性、移動図書館活性化については検討されたのか (2) 牧志・安里図書館の完成後の市内図書館整備計画と図書館費の実施計画について伺う (3) 市民に役立つ課題解決型の図書館サービスをどのように目指していくか伺う。また、そのことを目指す上で、手始めに、新聞・雑誌等の情報検索システムの導入、レファレンスコーナーの設置、件数などの目標設定、開館時間の延長などを提案したいが、見解を伺う 優先交渉権者への落札額は、会社存続にとって妥当な金額なのか。また、市としてこの売買取引が妥当だと考えているのか。妥当性を検証する上でも市として監査を行う必要があるのではないか、見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 景観行政について	(1) 新都心地域の道路において、当初植えられた街路樹が無くなっている部分、無くなった本数を問う。樹木の滅失は問題ではないか。当局の見解を伺う。また捕植の計画はあるのか (2) 那覇市域で国、県、市がそれぞれ管理する高木の本数と管理費用はいくらか。国、県、市それぞれが連携した上で、那覇市全体の景観に即した街路樹デザインを作るべきだと提案したいが、当局の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、代表監査委員、関係部長

個人質問（3日目） 平成19年12月14日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	宮 里 光 雄 (自民・無所属 連合)	1 那覇商工会 議所助成金に ついて	本年10月の「商工フェア」中止に伴い那覇商工 会議所助成金の一部の返還を求めるべきと考える が、当局の見解を求める
		2 「第2回や る気元気旗頭 フェスタinな は」について	(1) 当日の参加人数（小学校・中学校及び観覧 者、運営管理関係者を含む） (2) 会場手配、設営及び撤収、救急及び傷害保 険と警備体制はどのように行われたか (3) 前回と今回との比較（展示内容及び成果、 予算）と次回開催に向けた反省並びに抱負に ついて当局の評価と見解を伺う
		3 「沖縄県建 設産業ビジョ ン」について	沖縄県建設産業ビジョン策定検討委員会の活動 について当局の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 19 年 12 月 14 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	我如古 一 郎 (日本共産党)	1 住宅リフォーム等助成制度について 2 国連児童基金（ユニセフ）への協力について 3 識名公園構想と農業試験場跡地利用について	(1) 那覇市の住宅建設・修繕に関わる業者数を業種別に問う (2) 全国でこの制度を導入している自治体数とその理由は何か (3) 零細業者の多い本市でこそ導入すべきではないかと04年6月定例会で提案したが、改めて対応と見解を問う (1) 不要になった入れ歯の金具やかぶせ物を回収し、リサイクルしてユニセフに寄附している「日本入れ歯リサイクル協会」の活動はどのようなものか (2) 入れ歯が「世界の子どもを救う」この活動に自治体として協力し、「入れ歯回収ボックス」を設置することに、本市も参加してはどうか。見解を問う (1) 公園構想から長年経過しているが、進捗状況を問う。実現の可能性はあるのか (2) 農業試験場跡地利用はどのようなになっているのか (3) 市民スポーツを支えてきた新都心の多目的広場もなくなろうとしている。気軽に使える身近な運動施設が必要である。那覇市に残された数少ない土地を、県民・市民のために使うよう県に要請すべきである。見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 特別養護老人ホームの新設について	特養の待機者が増えている。市営住宅の建て替えの際に新設、併設すべきだと思うが、見解を問う 【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 19 年 12 月 14 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	平 良 識 子 (社 社 連 合)	1 行財政改革 について	平成 19 年度行財政改革推進運動を推進するにあたり、経営企画部、総務部、財務部で構成される「行財政基本システム再構築プロジェクトチーム」を設置し、事務事業の見直しを行っている 以下について伺う (1) 以下の関係部局にかかる経営企画室(P T)が見直している事業について、廃止及び削減の判断理由は何か。また削減額の大きい事業を上位 3 つ示していただきたい ① 市民文化部 ② 健康福祉部 ③ 健康保険局 ④ こどもみらい部 ⑤ 教育委員会 (2) 市の財政状況は、事務事業の見直しの結果どのように好転すると考えるか (3) 今回の行財政改革（事務事業の見直し）は市民生活および市民サービスにどのような影響を与えるか、どう手立てをする予定なのか
		2 教育行政に について	教育現場における男女平等・人権教育の推進について問う (1) 男女が区別されている事例はどのようなものか。それはなぜか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 市内小・中学校における男女混合名簿の実施状況について、以下伺う ① 実施の目的とその効果 ② 実施数と割合、導入年度からの推移について ③ 現状評価 ④ 採用・不採用は誰が判断するのか ⑤ 目標数値と達成に向けての取り組みについて (3) 男女平等を実践するためにはどのような取り組みが必要と考えるか
		3 行政の透明性について	電子入札システムが今月12月より試行され、平成20年度より本格実施される。このことは市の透明性と公平性を確保するのに重要な施策だと考える。これを踏まえ、以下について問う (1) 本格実施の際に、電子入札システムが導入される事業と導入されない事業の判断基準は何か (2) 来年度電子入札に付す予定事業件数はいくらか。すべてを電子入札制度に付すべきであるとするか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長